



中核地域生活支援センターシンポジウム2011



7月10日に中核地域生活支援センター2011年度シンポジウムが開催されました。まず、講師の湯浅誠氏から「なぜ新たなセーフティーネットが求められているのか」と題して基調講演がありました。湯浅氏はこう言います。「3つの傘がしぼむと、雨に濡れる人が増える」と。

国が企業を、企業が正社員・下請を、正社員が高齢者・子・妻を守っています。以前は、母子家庭や日雇労働者の人たちが傘の外にいました。

昨今、相談に来る人たちが多様になってきたということは、傘の外に出されてしまう人たちが増えてきたということでもあります。また、中小企業や家族がぎりぎりのところで傘の外にでそうなる人たちが支えている状況なのです。

さらに、湯浅氏はこう語りまします。「貧困は、社会の死角」であると。

社会には、障害福祉、年金、雇用、生活保護等々、色々な社会制度の光の矢印が出ています。これだけの制度があればどこかで誰かが支えてくれるだろうと思いがちですが、実際には誰にも支えられず影の中に陥ってしまう方もいるのです。

これからは制度本位の支援よりも、人本位の支援（パーソナル・サポート）が求められてくるのではないのでしょうか。影の中に陥ってしまう人たちに光があたるよう、社会の在り方を皆が考えていく必要があると思います。

第2部では、「地域でセーフティーネットを構築するため」というテーマで各団体からお話がありました。

伊賀市社会福祉協議会の田邊寿氏からは、伊賀市社会福祉協議会が行なっている「地域で保証機能を担う仕組みづくり」にむけての取り組みについてお話しがありました。

伊賀市社協では、家族や親戚等の血縁の絆が薄れてきている今、入院・借金・入学等の際に求められる保証人の役割を、地域で分割しようという取り組みを行なっています。保証人が必要な理由は、「何かあった時」ですが、その「何か」とは何か、曖昧ではありますが、曖昧にするので互いに支え合えるための仕組みとして機能してきました。しかし、その曖昧さが不安に繋がることもあります。

今後、地域福祉を進めるうえでの「保証機能」の課題は、まずは理解を深めて行くこと、必要なものはなくし、確かな保証機能の充実。最後に、問題発生時の対応だけでなく、日々支援し問題発生予防が必要だと考えられます。

地域の繋がりをつくるためには「たまり場」が大切と、北海道釧路市の地域生活支援ネットワークサロン理事、日置さんは語ります。

「たまり場」とは、リアルな生活課題が様々な形式で集まり、表現される機会、多様な立場の人達はその課題に受け止め、向き合い、知恵を出し合える違う発想、違う文化、ノウハウが

創造される機会です。一人ひとりの声を拾うことから、地域ができて、自分の声や希望を出すことができる環境が求められているとのことでした。

中核の強みは、縦断的ではなく横断的な支援ができることだと思います。ひとつの相談でも、背景には金銭・家族問題等、複数の問題が重なっている場合もあります。複数の機関と連携をとりながら、その方と共に問題解決に取り組んでいき最後まで見捨てない寄り添い型の支援を、地域の関係が薄れている今、中核が先頭に立ち行っていく必要があると改めて感じました。

2011柏市自殺予防対策連絡会議

柏市では、平成17年以降5年連続毎年80人前後の方が、また平成10年から平成22年まで13年間を合計すると実に柏市内だけで1,000人以上の方が自ら命を絶っていることとなります。

このような背景のもと、柏市自殺予防対策連絡会議が継続的に開催されています。今回は主に平成22年度の事業報告、「柏市自殺対策推進条例」が施行されたことが報告され、また、平成23年度の千葉県地域自殺対策緊急強化基金事業費の事業案が説明されました。

「柏市自殺対策推進条例」は平成27年3月31日までの期限条例になります。

～エッコロ福祉基金(生活クラブ虹の街)のお知らせ～

～『エッコロ福祉資金』は今年度で14年目を迎えます。組合員がお互いに支え合うエッコロ制度の掛け金100円の中から約25円を使い、地域で福祉活動を行う団体に助成する基金です。皆様からのたくさんの応募をお待ちしています。～

一般助成団体募集のお知らせ

- 助成対象
 - ・活動助成・・・高齢者・障害者・次世代育成支援に関する活動
 - ・研究助成・・・上記活動につながる調査・研究等
- 応募資格
 - ・千葉県内の各地域で活動する団体（1団体1件のみ）
 - ・書類審査による1次審査を通過された団体は、
2012年1月14日(土)の公開プレゼンテーションにご参加ください。
※会場：未定（千葉駅周辺を検討中）
 - ・助成事業の実施期間が2012年1月1日～2012年12月31日である。
- 助成額
 - ・1件あたりの上限は30万円、総額200万円。
- 応募方法
 - ・所定の書類に記入して提出して下さい(データ、もしくは郵送)
 - ・応募期間 2011年7月1日～9月30日(金)必着
- 問い合わせ・申し込み先
 - ・生活クラブ虹の街 組織部 染谷まで TEL:043-278-7172
 - ・募集要項・申請書は生活クラブ虹の街HPからも入手できます。

この3年間で集中的に取り組んでいくことが表明されています。内容は国の「自殺対策基本法」を若干具体的に示したもので、次の点を明らかにしているところがポイントです。

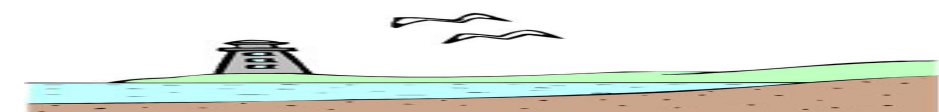
- ① 市の責務
- ② 育機関の責務
- ③ 事業者の責務
- ④ 連携体制の強化
- ⑤ 各段階にわたる支援
- ⑥ 自殺者の親族等に対する支援

しかし、どれもが努力義務であり、条例を具体化する各種施策はまだまとめられていませんのでこれからが期待とうところでは。

また、平成23年度の事業案

では昨年度と同様①自殺危険性の調査研究事業、②元気出そう中高年講座、③市民対象の相談窓口案内チラシ増刷(他にポスター、ティッシュ)、④自死遺族支援講演会、⑤無料カウンセリングが提案されました。

自殺対策は待ったなし！自殺対策支援センターNPO法人ライフリンクが発行した「自殺実態白書」によれば自殺の危険因子や自殺に至る経路はある程度明らかにされています。さらに具体的なポイントでの施策も必要なのではないかと思えます。



児童デイサービスすてっぷ

松戸市元山駅から徒歩3分の場所に、児童デイサービス「すてっぷ」があります。

代表の金子さんに話を聞きました。



—どんな場所ですか？

ここは、一人一人の個性を生かす場所です。波のあるお子さんが多いのですが、怒る時は怒り、褒める時には褒めるようにしています。例えば、職員の叱り方はその子の抱えている家庭状況に応じて変えています。

—どんな活動をしていますか？

散歩や買い物学習、プール遊び、プランターで野菜作りをしています。

—買い物学習とは？

ここに来るお子さんは、自分でお金を持って、買い物をする機会が少ないです。自分で財布を持って、レジに並ぶ事はとても大切です。大人になるとお店で並ばずに、物を盗んだら許してくれません。社会に出ると回りは厳しいです。買い物学習を通して、その事を学んで欲しいと思っています。

かしわ
柏うお～か～
あいネットが気になる街の事業所にお邪魔します。

Tel:047-384-2424

・担当・・・金子

千葉県松戸市五香六美249の11第二青木マンション102号

—最後に、一言お願いします。

ここで常識的な事が出来るようになり、生活の基盤を作れるようになって欲しいと思っています。例えば、挨拶が出来る事はとても大切な事です。最初は出来なくてもいい。徐々にやってはいけない事も覚えて欲しい。そのために、積み重ねて、伝えていきたいと思っています。

この場所には、お子さんの声にきちんと耳を傾けるスタッフがいます。お子さんが「なぜそのような行動を取ったのか」、行動の裏にある気持ちをとても大切にしたい関わりをしていました。お子さんがありのままの姿で、のびのびと活動する姿がとても印象的でした。

おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707/FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
～天野由美子 チャリティーコンサート～ 天野由美子(ピアニスト、流山市在住)	8/20(土) 12:30(開場) 13:00(開演)	初石公民館 (東武野田線初石 駅下車徒歩5分)	1000円 (全自由席)	必要	問い合わせ: NPO 法人自立サポート ネット流山 TEL:04-7154-7353 販売先/・初石工房 ・東深井福祉 会館 ・キッチンよつば他
～べてるの家来る～ NPO 法人自立サポートネット流山 設 立10周年イベント 講師:向谷地 生良 氏 (北海道医療大学看護福祉学部教授/ 社会福祉法人浦河べてるの家理事)	10/1(土) 13:30 ～16:00 (13:00開場)	南流山センター ホール (JR 武蔵野線・つ くばエクスプレス 南流山駅下車徒歩 4分)	1000円 (参加費)	必要 8/1(月) 販売開始	予約申し込み先: NPO 法人自立支援 サポートネット流山 事務局 TEL:04-7154-7353 販売先/いろいろや・ハーモニー他
「障害のある子の充実した学校生活の ために～通常学級での支援を中心に～」 講師:安住ゆう子 さん (NPO フトゥーロ LD 発達相談センター かながわ 心理士・所長「特別支援教育 士スーパーバイザー」)	9/3(土) 13:00 ～16:00	千葉市ビジネス 支援センター 会議室(きぼーる 13階) (JR 千葉駅より徒 歩15分/京成千葉 中央駅より徒歩5 分)	1000円 (参加費)	必要 8/29(月) 〆切 保育は定員5名 (先着順) 500円	問い合わせ:ちばMDエコネット事務 局(コミュニティカフェくひなたぼ っこ>内) TEL/FAX:047-426-8825 主催:ちばMDエコネット・千葉県他 協力:VAIC・コミュニティケア研究 所
～障がい児のための性教育講座・障がい のある子の性について考えよう!～ 講師:山本良典 氏 (日本障害児性教育研究会会長)	9/4(日) 14:00 ～17:00 (13:30～受付)	たんぽぽセンター ホール (千葉県柏市柏下 135-1) ※慈恵医大柏病院 そば	メンバー 300円 一般 500円	必要 定員50名 ※メンバー優先	申し込み先/ 虹色くらぶ: MAIL:happy_rainbow@live.jp 問い合わせ:障がい児子育て支援サ ークル 虹色くらぶ TEL:090-9388-6116 (外川)
「発達障害とは?～ライフステージに 寄り添う支援～」 講師:田中 康雄 先生 (北海道大学大学院教授)	10/1(土) 19:00 ～21:00 (18:30開場)	アミューゼ柏 クリスタルホール	必要 2500円 (事前申し込 み2000円)	必要 (先着400名) 9/20 〆切	申込み先/問い合わせ TEL/FAX:04-7105-7299 MAIL:info@aobakai.net 送信先:「社会福祉法人青葉会」 設立準備会事務局 柏市松葉町 6-11-8 NPO 法人自閉症サポートセンター内